



- 6号機 燃料装荷後の健全性確認の進捗について[発電所ニュース]
- 地域の皆さまとともに[発電所ニュース]
- 日々のパトロールにより現場に潜むリスクの未然防止に努めています[発電所の一員として]
- おしえて!エコロン ● 「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会」の皆さまに発電所の状況をご確認いただきました
- サービスホール9月の催し ● 地域の皆さまの知りたい!にお答えする動画を制作しています!

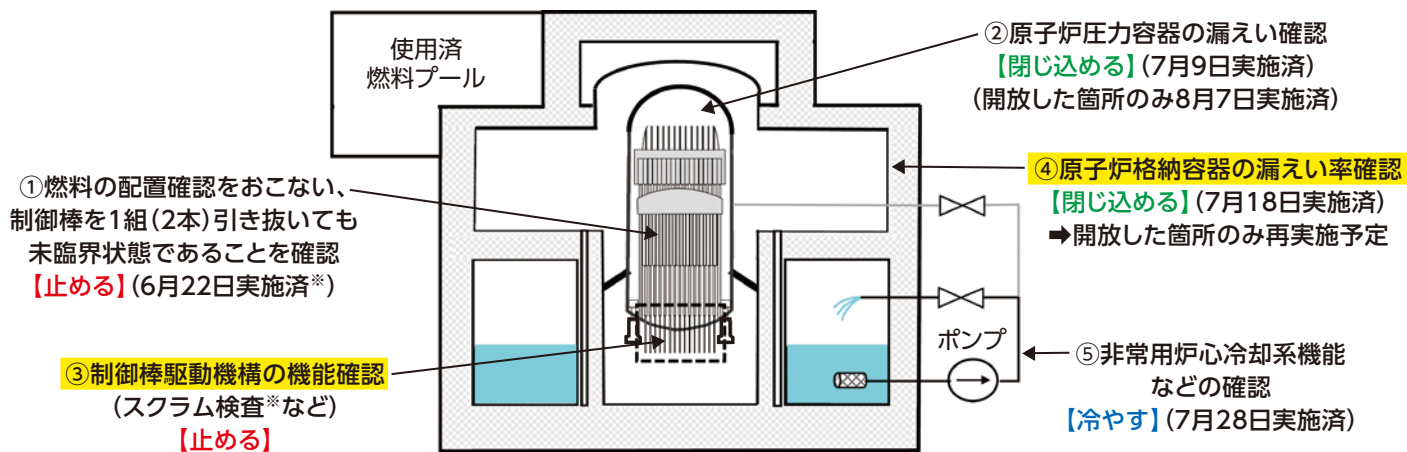
「ソバ畑と刈羽黒姫山」
柏崎市野田

6号機 燃料装荷後の健全性確認の進捗について

2025年8月号でお伝えした「②原子炉圧力容器の漏えい確認」「④原子炉格納容器の漏えい率確認」に引き続き、7月28日までに「⑤非常用炉心冷却系機能などの確認」を実施し、問題がないことを確認しました。

また、「③制御棒駆動機構の機能確認」において確認された制御棒駆動機構制御盤の不具合への対応として、8月25日までに制御棒205本全ての端子台を取り替えました。

取替後の動作確認試験において、1本の制御棒で、全挿入位置からの引き抜きができない不具合を確認しました。不具合対応完了後、「③制御棒駆動機構の機能確認」を実施するとともに、格納容器を一部開放した箇所について「④原子炉格納容器の漏えい率確認」を再実施する予定です。



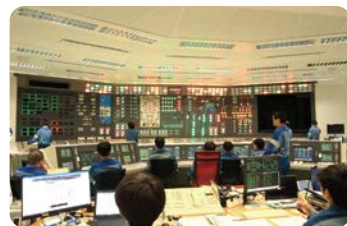
※使用前事業者検査を含む

【確認した内容】

⑤非常用炉心冷却系機能などの確認 → 7月28日実施済

緊急時にすべての電源が失われた場合でも、非常用電源が想定時間内に自動で起動し、炉心を冷やす設備・機能が確実に働くことを確認しました。

中央制御室で機能確認をしている様子



健全性確認を進める中で気づきがあれば立ち止まり、一つひとつ確実に対応していきます
また、その状況については、地域の皆さまにお伝えしていきます

●7号機の今後の対応について

2025年10月13日に特定重大事故等対処施設の設置期限を迎え、長期停止となることから、燃料を原子炉内から使用済燃料プールへ移すこととしました。

なお、燃料の取り出し作業は、現時点で10月21日から2週間程度を予定しています。

地域の皆さまとともに ～社員による地域活動～

●刈羽村ふるさとまつり(盆踊り、花火大会後の清掃活動)に参加しました

8月15日の刈羽村ふるさとまつりでおこなわれた盆踊りに当社社員有志22名が参加しました。また、花火大会後の清掃活動に当社社員19名が参加しました。

【地域の方のお声】

今年は清掃活動の他に、初めて盆踊りにも参加してくれてありがとう。



●出雲崎町船まつりでコミュニケーションブースを開催しました

地域の皆さまに発電所の状況をご説明する中で、ご不安や疑問にお答えするコミュニケーションブースを出雲崎町船まつりで開催しました。コミュニケーションブースには261名の方にご来場いただき、様々なご意見を伺うことができました。

【ご来場された方のお声】

高レベル放射性廃棄物の処理先が決まっていないのに再稼働を進めるのは賛成できない。

原発の必要性は理解しているが不安があった。
今回の話を聞いて少し安心できた。



●柏崎市、刈羽村、出雲崎町地域の児童クラブで夏休み電気教室を開催しました

発電所では、毎年夏休み期間中に、児童クラブの子どもたちにエネルギーに関するクイズや実験を取り入れた電気教室をおこなっています。今年は25箇所の児童クラブから1,020名にご参加いただきました。今後も子どもたちが、エネルギーや電気に関心を持ってもらえるように取り組んでいきます。

【児童のお声】

身近にある電気の大切さがわかった。

【児童クラブの先生のお声】

保護者から、「電気教室のことを子どもが楽しそうに話してくれた」と聞き、私もうれしかった。





日々のパトロールにより 現場に潜むリスクの未然防止に努めています。

発電所では、より良い発電所を目指すため、
日々パトロールに励んでいます。

今回は、女性社員を中心に構成される
「クールなでしこパトロール」と
東京電力および協力企業で構成される
「発電所パトロール」に携わっている
社員と協力企業の方に話を聞きました。

(2025年8月取材)

Profile

田中 大紀

福井県出身。柏崎市在住。2021年入社。柏崎刈羽原子力発電所に配属となり、現職に至る。

【柏崎市・刈羽村でオススメしたい場所】横山にある「ハコニワ」です。飲食店や美容室など様々なテナントが入っており、よく利用しています。開放的な空間でとてもリラックスできるので、お気に入りの場所です。



東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
原子力安全センター
安全総括部 改善推進グループ

たなか たいき
田中 大紀



東京パワーテクノロジー株式会社
原子力事業部
新潟原子力事業所
安全品質部長

なかもら むつひこ
中村 睦彦

中村 睦彦

柏崎市出身。柏崎市在住。1989年入社。2005年から安全品質管理を担当、2022年10月より現職に至る。

【柏崎市・刈羽村でオススメしたい場所】サイクリングが趣味です。柏崎刈羽地区は海沿いルートから厳しい山岳ルートまで様々なコースが楽しめます。また、200社を超える神社巡りもおすすめです。

— 発電所のパトロール活動について教えてください。

田中 私は、「クールなでしこパトロール」の事務局を担っています。このパトロールは、事務職を含む女性社員で構成されており、例えば、現場が整理整頓されているか、資機材の仮置きの状態が作業中のけがにつながる恐れがないかなど、我が家を整理整頓する時と同じ視点で重点的に確認しています。事務局は、パトロールする現場の選定や円滑なパトロール活動ができるよう運営補助をおこなっています。



中村 東京電力と協力企業各社が合同でおこなう発電所のパトロールを毎月1回、協力企業の安全担当者と合同でおこなうパトロールを毎週1回実施しています。パトロール当日は、その日の作業計画を確認し、特に注意の必要な作業現場を中心にパトロールします。その他、発電所で発生した不具合に関して、類似の作業を実施している企業が現場に集まり、「現場ワイガヤ会(合同検討会)」という形で対策を議論し、同様な不具合を繰り返さないよう発電所内に情報共有しています。



— パトロールするうえで心掛けていることはありますか。

田中 なるべく客観的な視点で現場をパトロールし、少しでも疑問に感じたことがあれば何でも声に出して確認することです。また、現場で当たり前になっていることから、実はとても良い取り組みをしている、あるいはより良く改善できていることを抽出できるよう心掛けています。

中村 安全第一を徹底し、現場の不具合やリスクを見逃さないことを心掛けています。また、作業員の皆さんとの会話から、実際に作業する方の視点で現場に潜んでいるリスクの抽出や原因の解決につながるよう努めています。

— パトロールで得た気づきなどをどのように活かしていますか。

田中 パトロールで得た気づきは、事務局で内容を集約し、発電所全体に周知することで、なでしこメンバーならではの視点を普段の現場管理に反映してもらえるよう取り組んでいます。例えば、現場環境が設備の不具合につながる環境になっていないか、掲示物の風化や剥がれがないかといった視点で得た気づきを速やかに管理部署へ連絡し、現場環境の改善につなげてもらえるよう取り組んでいます。

中村 パトロールで得た気づきはその場にいる作業員の皆さんに共有するとともに、迅速に対策を提案しています。また、良好な対策は東京電力、協力企業の関係者と共有し、発電所全体で水平展開しています。

— 柏崎刈羽原子力発電所で働く一員として地域の皆さまへメッセージをお願いします。

田中 日頃のパトロール活動を通して、小さな気づきであっても一つひとつ確実に積み上げていくことで、より安全な発電所を作り上げていけるよう努めてまいります。

中村 基本ルールを徹底し、安全安心な現場作業環境を作り出すことで、人身災害や火災といった現場に潜むリスクを未然に防ぎ、地域の皆さまにご不安やご心配をおかけすることがないように努めてまいります。

おしえて! エコロン



Q どうして新潟県柏崎市と刈羽村に『原子力発電所』を建てたの?

A 柏崎刈羽原子力発電所が建設される以前、発電所の敷地は広大な砂丘地でした。この砂丘地は、^{さしつ}砂質土壌や、^{ひさ}強風と飛砂[※]による生活被害などの要因から『不毛の大地』と呼ばれていました。

※飛砂:強い風によって砂が運ばれる現象

また、昭和30年代は、度重なる水害と豪雪に見舞われ、隣接した町との交通網が寸断された経緯もあり、地元では、この地域を有効活用することこそがこの地域の発展につながると考えられていました。

そのような中で、高度経済成長により首都圏が電力不足の状況であったことから、東京電力の柏崎刈羽原子力発電所建設に関する誘致が1969年に柏崎市議会ならびに刈羽村議会で決議されました。

その背景には、小林治助柏崎市長(当時)の「原子力発電所と地域社会の共存共栄を原点に柏崎の発展および国のエネルギー政策に貢献する」という理念がありました。

その他にも、原子力発電所を建設するための条件に合致していました。

① 広大な敷地があること

➡ 様々な施設が必要なため建物や設備を設置するための広い土地があること。

② 安定した地盤があること

➡ 国の指針で定められた強さを持つ岩盤が比較的浅いところに存在していること。

③ 海があること

➡ 原子炉で作られた蒸気を水に戻すため、大量の冷却水を確保できること。



柏崎刈羽原子力発電所 建設前



柏崎刈羽原子力発電所 建設後

【この地域とエネルギーの関わり】

発電所建設以前は、柏崎市・刈羽村は油田や石油生産で栄えた地域でした。

古くは「日本書紀」の668年の記述に「^{こしのくに}越国、^も燃ゆる土^{つち}燃ゆる水^{みず}を^{けん}献ず」とあり、新潟県で採れた燃ゆる水(=原油)が天智天皇に献上されていた記録があります。また、明治中期に西山油田の開発が始まると、柏崎に多くの製油所が建設され、昭和初期に石油生産のピークを迎えます。その後、西山油田は2001年に閉鎖されました。

「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会」の皆さまに発電所の状況をご確認いただきました

7月28日、「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会」の皆さまが発電所をご視察されました。委員の方からは、「コミュニケーションブースや発電所視察を通して、引き続き県内にお住まいの方へ発電所の状況などを分かりやすく説明してほしい」「稲垣所長をはじめ、東京電力社員が作業員の方に積極的に声をかけており、普段からコミュニケーションができていて感じた」といったお言葉を頂戴しました。



Webアンケートはこちら

添付のはがきのほかに、Webからでもアンケートにご回答いただけます。右の二次元コードからアクセスしてください。発電所に対するご意見・ご要望もご記入いただけます。



発電所公式 LINE アカウント

イベント情報やクーポンなどを毎月配信中!



きりとり線
✂



発電所公式 インスタグラム

発電所の日常や設備などについて、リール動画などで投稿しています!



① 発電所について、ご不明点やご質問がありましたらお聞かせください。

② 発電所運営について、感じていることやご意見がありましたらお聞かせください。

③ 各種SNSで発電所の様子を動画配信していますが、どのような動画をご覧になりたいですか。(複数回答可)

- ☐ 発電所の状況 ☐ 安全対策設備について
☐ 社員の日常 ☐ 訓練の様子 ☐ イベント情報
☐ SNSを見ない
☐ その他()

■ 読者プレゼントに応募する

ご希望の方は右の欄に○をお付けください。



Webアンケートでご応募いただくと、当選確率がUPします。

※裏面のお名前、年齢、ご住所、電話番号を必ずご記入ください。
なお、ご記入いただく内容については、お間違いのないようお願いいたします。

サービスホール9月の催し 参加無料

工作教室

土・日・祝開催 9時～16時30分
※12時～13時を除く

毎月違った3種類の工作をご用意♪
難易度に合わせて、小さなお子さまでも
楽しくチャレンジできます。



難易度★ コツコツきつつき



難易度★★ うさぎマグネット



難易度★★★ シャカシャカマイク

お問い合わせ／柏崎刈羽原子力発電所サービスホール TEL.0120-344-053 (9時～17時)



地域の皆さまの知りたい!に お答えする動画を制作しています!

今回は、「発電所の放射線管理ってどうしているの?」に
お答えした動画を紹介します!ぜひご覧ください。
地域の皆さまの「発電所の〇〇が知りたい!」を募集中です。
YouTube動画のコメント欄や添付のはがき、
Webアンケートに記載をお願いいたします。
皆さまのお声をお待ちしております。



おすすめのYouTube動画



料金受取人払郵便

郵便はがき

945-8790

柏崎局
承認

4062

柏崎市青山町16番地 46

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部 行

差出有効期間
2026年11月30日
まで
(切手不要)



ふりがな 年齢 歳

お名前 男・女・回答しない

〒

ご住所

電話番号

ご記入いただきました内容については、商品の発送、紙面づくり等に利用いたします。また、個人情報については適切に管理いたします。(2025年9月号)



発電所で働く人 (2025年8月1日時点)

現在、柏崎刈羽原子力発電所で働いている人は6,495人です。
約8割が新潟県在住となっております。

■東京電力ホールディングス(人) ■協力企業(757社) (人)

県内 在住者	柏崎市	840	県内 在住者	柏崎市	2,324
	刈羽村	67		刈羽村	210
	その他	169		その他	1,387
県外在住者		122	県外在住者		1,376
《合計》		1,198	《合計》		5,297

ニュースアトムは、発電所広報施設(サービスホール、カムフィ、き・な・せ)に配置しています。ご自由にお持ちください。また、発電所ホームページでもご覧いただけます。



今月号の表紙／「ソバ畑と刈羽黒姫山」

撮影場所：柏崎市野田
撮影時期：2019年9月



2025年9月10日発行

編集発行責任者
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部
企画広報グループマネージャー
〒945-8601
柏崎市青山町16番地46
☎ 0120-120-448
(平日9時～17時)

《検索》

柏崎刈羽原子力発電所

